

企画展

伊能図 近代地図の原点

大日本沿海輿地全図完成二百年記念！

だい にほん えんかい よち ぜんず

2021年

10.19 火

～12.19 日

伊能小図

今年、新たに存在が認められた
伊能小図の副本とみられる

「實測輿地図」の詳細デジタル複写を展示
ゼンリンミュージアム 所蔵

伊能中図

明治7年(1874)以降に、陸軍参謀局
によって模写された中図

大日本全図

(陸軍参謀局) 明治10年作成

伊能大図

(伊豫諸島 安芸 広島)

米国議会図書館所蔵の図を元に
国土地理院で彩色模写した大図

 地図と測量の科学館



【交通案内】

- ・TXつくば駅 から 関東鉄道バス
5番乗り場(建築研究所・下妻駅行)乗車約10分「国土地理院」下車
- ・TX研究学園駅 から つくバス
(吉沼シャトル)乗車約15分「国土地理院・つくば警察署」下車
- ・サイエンスツアーバス TXつくば駅発着
研究機関等を巡る1日乗降自由の周遊バス(土日・祝日運行)
- ・無料駐車場あり(大型可)



伊能忠敬像

千葉県香取市伊能忠敬記念館所蔵

茨城県つくば市北郷1番
国土地理院構内

開館時間 9:30-16:00 入場無料

休館日 毎週月曜日(祝日の時は順次翌日)

TEL 029-864-1872

開催にあたって

企画展

だいにほんえんかいよちぜんず

“伊能図” 近代地図の原点—大日本沿海輿地全図完成二百年記念—

■あいさつ

伊能忠敬（1745年～1818年）は、55歳の時（1800年）に蝦夷地（現在の北海道）までの測量を開始しました。これが第1次測量と呼ばれるもので、1816年の第10次測量まで実施され、これらの測量を元に北海道から九州までの実測による日本地図を作成しました。忠敬は1818年に亡くなりましたが、地図作成は弟子たちによって引き継がれ、1821年「大日本沿海輿地全図（だいにほんえんかいよちぜんず）」（通称「伊能図」）が完成し、幕府に上呈されました。忠敬の最初の測量から21年かかり日本全体の精密な地図が出来上がりました。

本年が伊能図完成から二百年という節目の年にあたることから、今回の企画展では、伊能忠敬が行った測量の方法や功績、完成した伊能図、明治に入って伊能図がその後の地図作成にどのように影響したのかを、当時の測量機器のレプリカ、国土地理院所蔵の伊能大図、中図、小図等の特別展示、伊能図を使って作成された地図等をとおして紹介します。

また、今年、新たに存在が認められた伊能小図の副本とみられる「實測輿地圖（じっそくよちず）」（ゼンリンミュージアム所蔵）の詳細デジタル複写を展示します。

■主な展示物

- ・大日本沿海輿地全図（伊能図）
 - 大図（国土地理院彩色図）
 - 中図
 - 小図（掛け軸）（レプリカ）
 - 小図「實測輿地圖（じっそくよちず）」詳細デジタル複写（ゼンリンミュージアム所蔵）
- ・測量機器類（レプリカ）
- ・官板実測日本地図
- ・大日本沿海略図
- ・大日本全図
- ・20万分1輯製図（しゅうせいず）